

▼アポカイン皮下注 [注]

【重要度】	【一般製剤名】アポモルヒネ塩酸塩水和物 Apomorphine Hydrochloride Hydrate	【分類】抗パーキンソン病薬
【単位】	▼30mg/カートリッジ	
【常用量】	1回 1mg から開始、以後経過を観察しながら1回量として1mg ずつ増量し、維持量として1回量1～6mg	
【用法】	皮下注 [2時間以上空ける]	
【透析患者への投与方法】	慎重投与 (1) 【その他の報告】データなし (17)	
【保存期 CKD 患者への投与方法】	重篤な腎障害患者には慎重投与 (1)	
【特徴】	線条体の D1、D2 受容体に結合する非麦角系ドパミンアゴニスト皮下注射剤。既存の抗パーキンソン病薬で十分な効果が得られないオフ症状に対するレスキュー療法に用いられる。制吐剤の併用も考慮。	
【主な副作用・毒性】	傾眠、悪心、嘔吐、好酸球増多、あくび、注射部位反応、血圧低下、幻視、不眠など	
【吸収】	ka=12.2/hr (1) 皮下注後 20 分でオフ症状が改善し、持続時間は 120 分程度 (飯嶋 睦 日本臨牀 81: 1116-1121, 2023)	
【F】	100% (1)	
【tmax】	0.25～0.5hr (1)	
【代謝】	急速に硫酸抱合体、グルクロン酸抱合体に代謝 (1) 抱合体に活性はない (1) 肝 CYP2B6、CYP2C8、CYP3A4/5 によりノルアポモルヒネに代謝されるが、その寄与は小さい (1)	
【排泄】	尿中未変化体排泄率 0% (1) 尿中回収率 86.7% [144hr まで] (1) 主に硫酸抱合体として尿中に回収 (1) 不明 (17) 【CL/F】250～300L/hr (1) 加齢により低下 (1)	
【t1/2】	0.7～1.0hr (1)	
【蛋白結合率】	90.4～93.6% (1)	
【Vd】	体重に比例して増加 (1)	
【MW】	312.79	
【透析性】	資料なし (1)	
【O/W 係数】	資料なし (1)	
【効果発現時間】	15min (1)	
【備考】	カートリッジ交換時に空打ち（エアークロス）が必要。故障すると注射できない器械で、使用開始後 1 年半で強制的に動作が停止され、新品に交換する。2 時間以内に再投与しようとする警告が出る。	
【更新日】	20230830	

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。